



KENDAL
INDUSTRIAL
PARK



INDONESIA
SEZ

産業変革が始まる インドネシアの 次世代経済の 原動力



ケンダル特別経済区の概要

ケンダル特別経済区 (Kendal SEZ) は、東南アジア有数の工業開発事業者である二社、株式会社 Jababeka Tbk (インドネシア) と Sembcorp Development (シンガポール) が戦略的に協業して開発した統合型工業団地です。本パートナーシップにより、ケンダル特別経済区は国際基準に基づいて運営されており、インドネシアにおける世界水準の製造・投資拠点としての地位を確立しています。

ケンダル特別経済区は、2016年11月14日にインドネシア共和国のジョコ・ウィドド大統領およびシンガポールのLee Hsien Loong首相により開所されて以来、中部ジャワ州の工業開発における先駆けであり、模範的存在となっています。また、投資額において最高水準を達成するとともに、大きな乗数効果を生み出すことに成功しています。これは、ケンダル特別経済区が投資志向であるだけでなく、地域社会に対しても具体的な社会的・経済的利益をもたらしていることを示しています。

当区は約10年にわたり、ケンダル特別経済区を地域の主要拠点として着実に発展させてきました。現在、国内外から100社以上の企業が、さまざまな産業分野でケンダル特別経済区に入居しています。当区は今後も、競争力と持続可能性を備えた工業団地の開発を継続するとともに、分野横断的な連携を強化し、地域経済の成長への貢献に取り組んでまいります。共に新たな成果を創出していくことを楽しみにしています。ケンダル特別経済区へのご参画をお待ちしております。



JABABEKA & CO.

51%



49%



sembcorp

PT Jababeka Tbk

Jababekaは1989年に設立され、PT Jababeka Tbkは、土地開発（工業、住宅、商業、オフィススペースなど）のビジネスを行うインドネシアで最高のタウンシップ開発者です。インフラストラクチャー（給水、廃水処理、不動産管理、電力、ドライポート/ロジスティクスなど）およびレジャーとホスピタリティ（ゴルフ、ホテルとリゾートなど）。コタでのジャバベカの旗艦開発ジャバベカは、ジャカルタの東35kmの子カランにある5,600ヘクタールの完全に統合されたタウンシップです。コタジャバベカの推定人口は100万人を超え、30か国から1,600を超える地元企業と多国籍企業が80万人以上の労働者と4,500人の駐在員を雇用しています。

Sembcorp Development

Sembcorp Development は、シンガポール取引所に上場しているテマセク関連企業であるSembcorp Industriesの完全子会社です。これは、未加工の土地を都市開発に変換するためのマスタープランニング、土地準備、インフラストラクチャー開発に20年以上の実績を持つアジアを代表する開発者です。ベトナム、中国、インドネシアの工業団地、ビジネス、商業、住宅用スペースを含む10,000ヘクタール以上の土地を所有、開発、販売、管理しています。注目すべきプロジェクトには、インドネシアのリアウ諸島にあるBatamindo Industrial ParkとVietnam Singapore Industrial Parkが含まれます。

2016年

インドネシア共和国の
ジョコ・ウィドド大統領および
シンガポールの
Lee Hsien Loong首相により開所

2017年

ケンダル特別経済区内に
ケンダル家具
ポリテクニク
(Kendal Furniture
Polytechnic) を設立

2018年

Lee Hsien Loong首相が
ジョコ・ウィドド大統領に対し
財政上のインセンティブ提供について
要請 (両国政府による二国間会合を実施)

2019年

INDONESIA
SEZ

ケンダル工業団地が
特別経済区として正式に指定

2020年

PMK 237/2020
(インドネシア 財務大臣令)
の公布および
投資額19.2兆ルピアを誘致
(新型コロナウイルス流行期)

2021年

投資額22兆ルピアを誘致し、
1万人を超える雇用を創出

2024年

投資額141.7兆ルピアを誘致し
61,720人の雇用を創出

2023年

インドネシア工業省より
「The Best New Industrial
Area 2023」
(2023年 最優秀
新設工業団地賞) を受賞

2022年

投資額32.84兆ルピア
を誘致

2025年

中部ジャワ州において
「2024年投資実現額において
最高の工業団地」として表彰

2030年

インドネシアにおける
製造・サプライチェーン
統合ハブとなることを目指す

2040
年以降

東南アジア諸国連合地域における
グリーンかつスマートな工業ハブ
および研究開発センターとなることを目指す

当区の実績

2023

インドネシア初となる
再生可能エネルギー産業
の誘致に成功

2023

インドネシア工業省より
「The Best New
Industrial Area 2023」
(2023年 最優秀新設工業団地賞)
を受賞

2025

中部ジャワ州において
2024年の投資実現額において
最高の工業団地に選定

2025

インドネシア労働省より
「Norma 100 Award」
を受賞

2025

2020年以降
ケンダル県の公開失業率を
2.9%低下させることに貢献

戦略的な立地



ジャカルタ、スラバヤ、シンガポール、クアラルンプールからスマランへ直行便を利用可能



Pantura 道路
 鉄道
 Trans Java 有料道路
 環状道路

ケンダル国際港
 (2028年に完成予定)
 Trans Java 有料道路
 (2018年に完成)

鉄道
 (2028年に完成予定)
 Tanjung Emas への環状道路
 (2028年に完成予定)

Ahmad Yani 国際空港からケンダルまで約 20 km です。

スマラン駅からケンダルまで約 22 km です。

スラバヤから、ケンダルまで三時間くらい。

Tanjung Emas 港からケンダルまで約 25 km です。

スマランからケンダルまで約 21 km です。

ジャカルタから、ケンダルまで五時間くらい。

ユーティリティ

電力

初期合計 600 MVA
(150KV / 20KV 変電所)



水供給

容量: 初期 24,000 CMD



天然ガス

パイプ接続



フローティング・ソーラーファーム

持続可能なエネルギー



汚水処理系統

容量: 初期 20,000 CMD



排水システム

- メインドレン (幅 8 ~ 10m) の排出
- 洪水レベルから 2.5 m
- 調整池: 420,000 m³



ランドスケープ&ハウスケーピング

公園内のランドスケープと
共通ユーティリティのメンテナンスとハウスケーピング



電気通信

1080 (行)
IDD プライベートリースライン
光ファイバー



安全

パーク内の24時間警備パトロール



道路システム

内部のアスファルト道路は
便利に接続され、よく整備されています



経済特区 (SEZ)

特別経済区としての工業団地には、次のようなメリットがあります。

法人税

- ✓ 業界向けの最大 20 年間の免税期間

 家具とおもちゃ

 食品と飲料

 ファッション

 電子

 自動車

 医薬品

 裾野産業

 物流と包装

- ✓ 税額控除

付加価値税

- ✓ 土地購入の無料VAT
- ✓ 一部のサービスでは VAT が無料*
- ✓ 機械や設備の購入に対する無料の付加価値税
- ✓ 原材料の無料VAT*

輸入関税と輸入税

- ✓ 機械、設備、原材料に対する無料の輸入税と輸入関税*



総開発面積

2,200ヘクタール (ha)

凡例

- 工業用地
- 業務用インフラ・共用施設
- 商業エリア
- 住宅エリア
- 緑地

ファッション

Eclat

SHENZHEN TEXTILE GROUP
中国服装集团

联发纺织
LIANFA TEXTILE

DONG JIN
TEXTILE CO. LTD

BSN
Innovations in packaging 1810

自動車・再生可能エネルギー

zcl rubber

BTR tmai

Lopal

日上集团
SUNRUBBER GROUP

SUNRA

電子機器

HENG TONG GROUP

BORINE

Polygroup

Miyako

RICHME

Hiron 海容

家具

Kementerian Perindustrian

DF

Decofrance

KUKA HOME

食品・飲料

MAXI

BERNARDI

Go-Day

PT CENTRAL PERTIWI BAHARI

PT. INMAS SURYA MAKMUR

医療機器

CV MEDIKA

beurer

成大生物
NORCHEM

ADVENTA BIOTECH

企業様の声



PT. Matahari Tire Indonesia

Wu Yuejun様 - 株式会社 Matahari Tire Indonesia 取締役

ケンダル特別経済区に入居して以来、製品の輸出プロセスがより円滑かつ効率的になりました。
特別経済区の地位により各種優遇措置が提供され、当社製品の海外価格競争力も大きく向上しました。



SAM IL TEXTILE CO., LTD. PT. Samil Textile Indonesia

Shin Soo Rim様 - 株式会社 Samil Textile Indonesia 取締役

ケンダル特別経済区は当社にとって初めての進出先です。
行政面から安定的で信頼性の高いインフラまで、整然かつ効率的に整備されていることに感銘を受けています。
当社は、すべての業務がスムーズに進行するようサポートしていただいたことに深く感謝しています。



PT. Hiron Indonesia Industry

Zhou Jinliang様 - 株式会社 Hiron Indonesia Industry 取締役

ケンダル特別経済区は、中部ジャワ州最大の工業団地であり、
インドネシア政府の国家戦略プロジェクトでもあります。
当社は、その優れたサービスと整備されたインフラ、そして過去1年間のご支援に深く感謝しています。

グローバルマーケットへの ゲートウェイ



📍 Kendal Office

Jl. Raya Arteri KM 19, Kel. Brangsong, Kec. Brangsong,
Kab. Kendal, Central Java, Indonesia (51371)

☎ (+62) 294 3690 690
📠 (+62) 294 3690 686

📍 Jakarta Office

Menara Batavia 25th floor
Jl. K.H. Mas Mansyur Kav. 126, Jakarta, Indonesia (10220)

☎ (+62) 21 5793 0329
📠 (+62) 21 5793 0268

📍 Singapore Office

c/o Sembcorp Development Ltd. 30
Hill Street # 03-01 Singapore (179360)

☎ (65) 6723 3900
📠 (65) 6822 1578



電子パンフレットをダウンロード

www.kendalindustrialpark.co.id

📷 🌐 📺 Kendal Industrial Park